

受賞者氏名	吉田 一朗	
所属	理工学部 機械工学科	
受賞年月日	2024 年 4 月 5 日(金)	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	公益社団法人 精密工学会	
受賞名	精密工学会 功労賞	
受賞(研究)内容詳細	精密工学会 功労賞は、過去 15 年間に公益社団法人 精密工学会および精密工学分野の発展・運営に対して大きな功績をなした 100 名の者に対する表彰です。 精密工学会では、役員(2020～2024 年度)、代議員(2014～19 年度)、若手の会 会長(2014 年度、委員は 2009～14 年度)、会誌編集委員会 委員長(2020～24 年度)や事業部会 統括幹事(2018～19 年度)、事業部会 企画第 3 委員会 委員長(2017 年度、委員は 2015 年度から継続中)、研究協力委員会 幹事(2016～18 年度)、広報・情報部会 委員(2018 年度～継続中)、校閲委員会 協力委員(2008 年度～継続中)などを歴任しています。 企画関係では、企業と学生のマッチングイベントの企画・運営を、前職の(株)小坂研究所 所属時代から現在まで携わってきました。この企業と学生のマッチングイベントは、『産学人材支援プログラム 産と学生との集い ―学生のための精密工学先端技術講演会』という名称で2013年から本年度で13回も開催しており、そのノウハウは理系同窓会・理系コンソーシアム・理系4学部が主催している「キャリア相談会」にも活かされています。 また、複数の学術講演会および国際会議の実行委員を歴任し、講習会企画はちょうど10年携わっています。 また、執筆した解説論文は、精密工学会誌の約 6,000 以上の論文・記事の中で年間のインターネットアクセス数で常にトップ5に入り、2020 年の例では年間 27,000 以上のアクセス数になっており学会の知名度向上に貢献しています。 以上の内容の功績などが認められたものと思われます。 精密工学会は、ものづくりに関わる分野横断的な学会です。画像認識やAI、オートメーション、自動ロボット基礎技術の研究が盛んな点が特徴の学会でもあります。	